

令和 7 年 1 2 月 2 6 日

始良市議会議長 様

会 派 名 市政クラブ始輝
 代表者氏名 桃木野 幸一

政務活動報告書

【調査・研修・陳情等】

次のとおり実施しましたので報告します。

活動期間	令和 7 年 1 0 月 3 0 日～令和 7 年 1 1 月 2 日（3 泊 4 日）		
活動場所	鳥取県（鳥取市・智頭町）、大分県（別府市）		
目 的	①「第 3 6 回全国過疎問題シンポジウム 2025in 鳥取」へ参加し、全国の事例を考察し、本市への過疎対策に役立てるため ②「第 3 0 回全国棚田サミット in 別府」へ参加し、農村地域の取組を考察し、本市における農業の在り方を政策的に役立てるため		
使途項目	研修費	経路内訳と金額	様式 3、様式 5 のとおり
所 見	①全国過疎問題シンポジウム 1 0 月 3 0 日 基調講演（鳥取市） 「次世代につなぐ人づくりとエコシステム」 「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと」 1 0 月 3 1 日 分科会（智頭町） ②全国棚田サミット 1 1 月 1 日 全体会：内成棚田の保全維持活動について 分科会 1：農村と都市をつなぐ交流 分科会 2：スマート農業で次世代に残す農業 1 1 月 2 日 現地視察：内成棚田と堂面棚田 ※成果物、資料は別添のとおり		
参加者名	①全国過疎問題シンポジウム 桃木野幸一・宇都陽一郎 ②全国棚田サミット 湯元秀誠・宇都陽一郎		

行 程 表

会派名/市政クラブ始輝（議員名：宇都陽一郎）

月 日	時刻	出発地等	到着地等	路 線	金額(円)
10/30		帖佐駅	鹿児島中央駅	JR 日豊本線	560
		鹿児島中央駅	岡山駅	新幹線みずほ	22,450
		岡山駅	鳥取駅	特急スーパーいなば	5,400
	13:00 17:00	全国過疎問題シン ポジウム	とりぎん文化会館	研修	
		とりぎん文化会館	グリーンリッチホテル鳥取駅前	徒歩	
		グリーンリッチホテル鳥取駅前		宿泊	9,682
10/31		ホテル	鳥取駅	徒歩	
		鳥取駅	智頭町総合センター	専用バス（無料）	
	09:30 11:00	全国過疎問題シン ポジウム分科会	智頭町総合センター	研修	
		智頭町総合センター	智頭駅	徒歩	
		智頭駅	上郡駅	特急スーパーはくと	2,150
		上郡駅	相生駅	JR 山陽本線	240
		相生駅	小倉駅	新幹線ひかり 505 号	12,650
		小倉駅	別府駅	特急ソニック 35 号	3,800
		別府駅	アパホテル別府駅前	徒歩	
		アパホテル別府駅前		宿泊（13,500 円）	13,100
11/1		ホテル	別府駅	徒歩	
		別府駅	別府国際コンベン ションセンター	徒歩	
	09:30 17:00	第 30 回全国棚田 （千枚田）サミッ ト in 別府	別府国際コンベン ションセンター	研修（3,500 円）	3,500
		別府国際コンベン ションセンター	別府駅	徒歩	
		別府駅	アパホテル別府駅前	徒歩	
		アパホテル別府駅前		宿泊（13,500 円）	13,100
11/2		ホテル	別府駅	徒歩	
		別府駅	別府国際コンベン ションセンター	徒歩	
	10:00 15:00	現地見学（2つの 棚田を巡る）	堂面棚田・内成棚田	研修（3,000 円）	3,000
		現地	別府駅	専用バス（無料）	
		別府駅	小倉駅	特急ソニック 42 号	3,800
		小倉駅	博多駅		1,690
		博多駅	鹿児島中央駅	新幹線さくら 561 号	12,150
		鹿児島中央駅	帖佐駅	JR 日豊本線	560

※ 行程表の起点と終点は、自宅の最寄り駅又は最寄りのバス停とする。

行 程 表

会派名／市政クラブ始輝（議員名：桃木野幸一）

月 日	時刻	出発地等	到着地等	路 線	金額(円)
10/30		帖佐駅	鹿児島中央駅	JR 日豊本線	560
		鹿児島中央駅	岡山駅	新幹線みずほ	22,450
		岡山駅	鳥取駅	特急スーパーいなば	5,400
	13:00 17:00	全国過疎問題シン ポジウム	とりぎん文化会館	研修	
		とりぎん文化会館	グリーンリッチホテル鳥取駅前	徒歩	
		グリーンリッチホテル鳥取駅前		宿泊	9,682
10/31		ホテル	鳥取駅	徒歩	
		鳥取駅	智頭町総合センター	専用バス（無料）	
	09:30 11:00	全国過疎問題シン ポジウム分科会	智頭町総合センター	研修	
		智頭町総合センター	智頭駅	徒歩	
		智頭駅	上郡駅	特急スーパーはくと	2,150
		上郡駅	相生駅	JR 山陽本線	240
		相生駅	鹿児島中央駅	新幹線	22,910
		鹿児島駅	錦江駅	JR 日豊本線	450

※ 行程表の起点と終点は、自宅の最寄り駅又は最寄りのバス停とする。

行 程 表

会派名／市政クラブ始輝（議員名：湯元秀誠）

月日	時刻	出発地等	到着地等	路 線	金額(円)
10/31		川内駅	小倉駅	新幹線みずほ 610 号	11,800
		小倉駅	別府駅	特急ソニック 35 号	3,800
		別府駅	ホテル	徒歩	
		アパホテル別府駅前		宿泊 (13, 500)	13, 100
11/1		ホテル	別府駅	徒歩	
	09:30 17:00	第 30 回全国棚田 (千枚田) サミッ ト in 別府	別府国際コンベンシ ョンセンター	研修 (3,500 円)	3,500
		別府駅	ホテル	徒歩	
		アパホテル別府駅前		宿泊 (13, 500)	13, 100
11/2		ホテル	別府駅	徒歩	
	10:00 15:00	現地見学 (2つの 棚田を巡る)	堂面棚田・内成棚田	研修 (3,000 円)	3,000
		現地	別府駅	専用バス (無料)	
		別府駅	小倉駅	特急ソニック 42 号	3,800
		小倉駅	博多駅	JR	1,690
		博多駅	川内駅	新幹線さくら 561 号	10,550

※ 行程表の起点と終点は、自宅の最寄り駅又は最寄りのバス停とする。

旅費計算書〔 概算 ・ 実績 〕

会派名又は議員名（市政クラブ始輝）

内 訳	航空賃	円	
	鉄道賃	151,250 円	
	バス賃等	円	
	車賃	円	
	宿泊料	71,764 円	グリーンリッチホテル鳥取駅前 9,682 円×1泊 アパホテル別府駅前 13,100 円×2泊
	参加料	13,000 円	第30回全国棚田サミット in 別府参加登録料
	その他	1,500 円	駐車料金
合計額		237,514 円	

鉄道賃・バス代										
月	日	出発地～到着地	路線名	距離	運賃	普通 急行	特別 急行	座席 指定	特別 車両	バス 運賃
10	30	帖佐駅～鹿児島中央駅			1,120					
		鹿児島中央駅～岡山駅			44,900					
		岡山駅～鳥取駅			10,800					
10	31	智頭駅～相生駅			4,780					
		相生駅～鹿児島中央駅			22,910					
		鹿児島駅～錦江駅			450					
		相生駅～小倉駅			12,650					
		川内駅～小倉駅			11,800					
		小倉駅～別府駅			7,600					
11	2	別府駅～小倉駅			7,600					
		小倉駅～博多駅			3,380					
		博多駅～川内駅			10,550					
		博多駅～鹿児島中央駅			12,150					
		鹿児島中央駅～帖佐駅			560					

旅費計算書〔 概算 ・ 実績 〕

会派名又は議員名（宇都陽一郎）

内 訳	航空賃	円	
	鉄道賃	65,450 円	
	バス賃等	円	
	車賃	円	
	宿泊料	35,882 円	グリーンリッチホテル鳥取駅前 9,682 円×1泊 アパホテル別府駅前 13,100 円×2泊
	参加料	6,500 円	参加登録料及び分科会参加料
	その他	円	
合計額		107,832 円	

鉄道賃・バス代										
月	日	出発地～到着地	路線名	距離	運賃	普通急行	特別急行	座席指定	特別車両	バス運賃
10	30	帖佐駅～鹿児島中央駅			560					
		鹿児島中央駅～岡山駅			22,450					
		岡山駅～鳥取駅			5,400					
10	31	智頭駅～相生駅			2,390					
		相生駅～小倉駅			12,650					
		小倉駅～別府駅			3,800					
11	2	別府駅～小倉駅			3,800					
		小倉駅～博多駅			1,690					
		博多駅～鹿児島中央駅			12,150					
		鹿児島中央駅～帖佐駅			560					

旅費計算書〔 ~~概算~~ ・ 実績 〕

会派名又は議員名（桃木野幸一）

内 訳	航空賃	円	
	鉄道賃	54,160 円	
	バス賃等	円	
	車賃	円	
	宿泊料	9,682 円	グリーンリッチホテル鳥取駅前 9,682 円×1泊
	参加料	円	
	その他	円	
合計額		63,842 円	

鉄道賃・バス代										
月	日	出発地～到着地	路線名	距離	運賃	普通急行	特別急行	座席指定	特別車両	バス運賃
10	30	錦江駅～鹿児島中央駅			560					
		鹿児島中央駅～岡山駅			22,450					
		岡山駅～鳥取駅			5,400					
10	31	智頭駅～相生駅			2,390					
		相生駅～鹿児島中央駅			22,910					
		鹿児島駅～錦江駅			450					

旅費計算書〔 ~~概算~~ ・ 実績 〕

会派名又は議員名（湯元秀誠）

内 訳	航空賃	円	
	鉄道賃	31,640 円	
	バス賃等	円	
	車賃	円	
	宿泊料	26,200 円	アパホテル別府駅前 13,100 円×2泊
	参加料	6,500 円	登録参加料及び分科会参加料
	その他	1,500 円	駐車場料金
合計額		65,840 円	

鉄道賃・バス代										
月	日	出発地～到着地	路線名	距離	運賃	普通急行	特別急行	座席指定	特別車両	バス運賃
10	31	川内駅～小倉駅			11,800					
		小倉駅～別府駅			3,800					
11	2	別府駅～小倉駅			3,800					
		小倉駅～博多駅			1,690					
		博多駅～川内駅			10,550					

政 務 活 動 報 告 書

【報告者】宇都陽一郎（市政クラブ始輝）

第36回全国過疎問題シンポジウム2025 in 鳥取

【開催日】2025年10月30～31日（2日間）

【参加者】桃木野幸一、宇都陽一郎

【内 容】年1回開催されており、今回で3回目の参加となりました。2023年は富山県、2024年は山梨県で開催され、「過疎」をテーマとした基調講演やパネルディスカッションを拝聴しました。

また、分科会では、過疎問題に取り組んでいる自治体や団体の事例発表を拝聴しました。

【基調講演】テーマ：次世代につなぐ人づくりとエコシステム
講 師：中塚雅也氏（神戸大学大学院農学研究科教授）

丹波篠山市と神戸大学が地域連携を結び活動しており、その立ち上げメンバーであり、神戸大学の教授であり、大学内になる地域連携センター長でもあるそれぞれの立場からの幅広く座学と実学が混じった講演内容でした。

最も印象的だったのが、「結果を求めても状況が変化していくので、結果にこだわらず継続すること」ということでした。また、一人でするものではなく、大学では学生と一緒に議論しあい、地域では住民と議論しあうという意義も感じました。

【パネルディスカッション】

- （パネリスト）①村尾朋子氏：鳥取県智頭町、ゲストハウス経営
②西山 恵氏：鳥取県大山町、公民館主事
③工藤志保氏：山形県酒田市、コミュニティ事務局長
④矢崎澄香氏：山梨県丹波山村、役場職員

不思議なことに今回のパネリストは全員女性でした。司会進行の方も言われていましたが初めてのことで、控室でもずっと笑い声と会話が絶えなかったそうです。年齢も、住んでいる場所も、事業も異なり、しかも初対面であり、そのパネリスト4名の熱意が溢れるパネルディスカッションでした。

その背景には、皆さん「ふるさとへの想い」が熱く、人と関わるのが大好きという方々だと感じました。なので聞いていて、本当は苦労の連続だった

たと思いますが、大変そうだなとか、苦勞しているなというようなことは全く感じませんでした。

また、今回の4名のパネリストが実際されている事業は、その地域だからできたというのではなく、何処でもできる、もちろん始良市でもできる内容だったので大変参考になりました。

【分科会】4つの団体の優良事例発表を拝聴しました。

① 秋田県能代市

閉鎖となった保育園をコミュニティセンターへと再活用し、人と人とが会う機会や居場所を創出する取り組み。

② 新潟県佐渡市

棚田を保全し、棚田米の販売強化に取り組んでいる。また、地域に無いものは作ればいいという地域住民同士の団結力が素晴らしいです。「限界集落ではなく、無限界集落だ」という内容の歌も作り、その背中を見て若い世代がUターンしてくるという若さとパワーを感じました。

③ 福岡県香春町

町内小中学校が再編された時に、各地区で「廃校と地域の未来を考える会」という町民主導での会合が始まり、学校跡地を活用した校区コミュニティ協議会が設立しています。そして、「一人一人が地域の主役」という老若男女問わず個性を発揮できる地域づくりをされています。

④ 岐阜県白川町

「マルチワーカー」という繁忙期だけの人材を募集したり、滞在型の「ワーキングホリデー」をしたりと地域人材育成に力を入れています。また、地元住民が過干渉になり過ぎず裏支えし、「自分もこの町の大事な一員だ」と思ってもらえるサポートを行っています。さらには、子供たちにもまちづくりに関わってもらおうと、子供たちにも意見を聞き、こどもたちの要望で「ラーメン店が欲しい」と言われて、ラーメン店を開店するというエピソードもありました。これは次世代の人材育成になると感じました。

【所 感】 今回で3回目の参加でした。シンポジウム名が「全国過疎問題」とあり、最初は固い内容で暗い雰囲気 of シンポジウムではないかとイメージして参加しました。ところが、パネリストも事例発表者も皆さん明るくもちろん元気な方々で毎年参加するのが楽しいシンポジウムでした。そんなこともあり、来年は選挙の年であり改選があり、このシンポジウムに議員として参加できないことも想定し、12月議会では「人口減少から考察するまちづくり」と題して一般

質問させていただきました。ご興味がありましたら、動画視聴して頂けたら幸いです。先にも述べたように、日本全体で人口減少しています。「もはや全国各地が過疎地」とも言われています。私も議員になる前は、「過疎問題」について考えたこともありませんでした。しかしながら、このシンポジウムを通して、「過疎」へのイメージも変わり、「過疎問題」と捉えるよりも「人口減少問題」として、これからは取り組まなければならない地域と自治体の課題だと感じました。幸いにも始良市は、合併する前から旧蒲生町が過疎地域の認定を受けており、~~＝~~そして、「過疎債」という恩恵も受けています。なので、蒲生地区では、早くから「人口減少問題」に着手し、それをしっかりと世代継承しています。そのノウハウが、平成28年に開催された「第28回過疎問題シンポジウム in 奈良」で優良事例団体総務大臣賞を受賞しています。

また、「過疎問題」で明暗分けるのが近隣との交通アクセスと言われます。いくら頑張っても都市部との交通アクセスが悪いと継続することが難しいようです。始良市は、空港まで30分、日豊本線と連結した新幹線、3つのインターチェンジを有する高速道路と交通アクセスも抜群です。

ご存じのように、鹿児島県内で唯一人口増加している自治体ではありますが、数年後からの人口減少に備えて、蒲生地区のノウハウと交通アクセスの良さを武器に、今から「人口減少問題」に取り組んでもらいたいと思います。今回は、2名の行政職員も参加されました。議員という立場と行政職員という立場の異なる立場で、「人口減少問題」について意見し合う機会にもなりました。我々議員も一市民であり、行政職員も一市民です。市民の要望に応えられる政策提言こそが「まちづくり」だと思います。

最後に、これからも「街の住みこちランキング」1位継続できるまちづくりを祈念して、所感とします。

務 活 動 報 告 書

【報告者】宇都陽一郎（市政クラブ始輝）

第30回 全国棚田サミット2025 in 別府

【開催日】2025年11月1日～2日（2日間）

【参加者】湯元秀誠、宇都陽一郎

【内 容】年1回開催されており、全国の棚田を保全しようと、耕作者や農業関係者、行政職員、民間企業が一堂に会し、現状やこれからの課題について意見交換し、共有する会議です。

【基調講演】○中島 峰広氏（早稲田大学名誉教授、棚田ネットワーク名誉代表）

○土屋 陽一氏（前回開催地の長野県上田市市長）

○長野 恭鉦氏（今回開催地の大分県別府市長）

第30回という節目のサミットということもあり、これまでを振り返りながらの対話形式でした。棚田を守る人々のエピソードもあり、その方々の結束力を感じる講演でもありました。

また、別府市には内成棚田や、堂面棚田、天間棚田、大所棚田、東山棚田と5つの棚田地区があり、それぞれの棚田の紹介や取組の発表もありました。

【分科会】（演題）スマート農業で次世代に残したい農の豊かさ

（講師）大石 耕太郎氏（千葉大学大学院園芸学科研究科）

山田 順之氏（鹿島建設株式会社技術研究所）

<気象条件と米の食味の関係性>

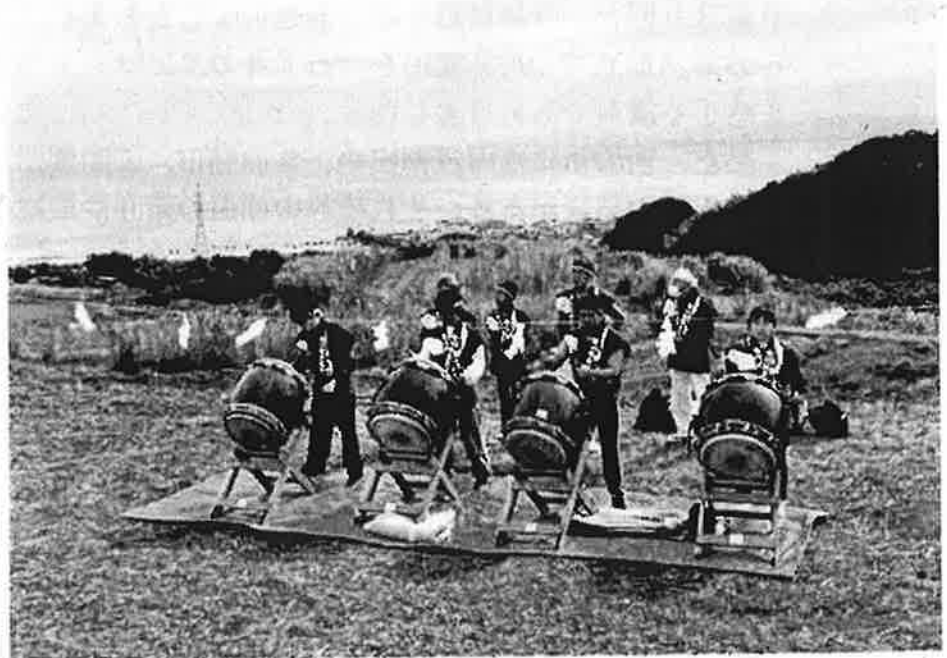
お米のおいしさを数値で表す研究の発表でした。アミロースとタンパク質の含有量から解析し、それに該当する品種や気象条件を見いだすという興味深い研究でした。生産者の方々も近年の温暖化で生育に悩んでいるようで多くの質問も飛び交っていました。そして、最後のまとめですべての気象条件を満たしているのが「棚田」であり、だから「棚田米」は美味しいという根拠がありました。昔の人は、ここで稲作をすると美味しいお米ができるとわかって開墾したのかもしれませんが。

＜スマート農業を活用した棚田の生産性向上への取組＞

棚田というと山間部にあり、農機具を移送するするのが難しい。さらに、田んぼの形状も四角ではなく面積も小さいものが多いです。人手を要するため効率性も低く、生産性も低いのが現状です。そんな中、建設業界大手の鹿島建設が建設のノウハウを生かしたスマート農業で、棚田の生産性を高める実証実験の事例発表がありました。まだまだ実用化には至っていませんが、人手不足と生産性向上に向けて取り組まれていました。

【現地視察】堂面棚田と内成棚田の現地視察コース

（堂面棚田）別府湾を見下ろせる風光明媚な場所にある棚田地区です。棚田の麓は市街地なので、この棚田を保全することは洪水や土砂流出防止といった災害対策の役割も担っています。そのため、農家だけではなく、地域の方々も共同で水路や農道の整備を行っています。それが地元の伝統芸能や文化の継承にも繋がっています。



(内成棚田) 別府市内から車で30分と近い感じでしたが、見渡す限り山と田んぼしかない絶景でした。棚田の規模も大きく、1000枚の棚田があり、農水省の「日本の棚田百選」に選ばれています。この風景を継承したいという地域の方々の思いに共感でき、また強い決意を感じました。聞けば聞くほど不便さと大変さを知りましたが、それでもこの風景を守りたい気持ちが原動力になっているそうです。



【所 感】 「何故、棚田米が美味しいのか」、このことを研究分析から解明され、とても納得できました。そして、2つの棚田を現地視察することで、美味しいお米ができる気象条件を体で感じ、さらに納得できました。その反面、並々ならぬ保全活動への努力があること、人手不足や後継者不足が大きな課題であることもわかりました。また、「日本人の心の風景」とも言われる棚田を守ることこそが日本の農業を守ることに繋がると思いました。

始良市においても、漆地区や北山地区の田園風景を守りつつ有機野菜を含めた農業の活性化に繋げて欲しいです。

個人的な見解ですが、農業を志す人にこそこの景色を見てもらいたいです。挫折しそうになった時に、必ず心の支えになってくれると思います。

政務活動報告書

会 派 市政クラブ始輝

報告者 桃木野 幸一

下記のとおり報告します。

「期日」 令和 7 年 10 月 30 日（木）

「場所」 とりぎん文化会館梨花ホール

「テーマ」 「次世代につなぐ人づくりとエコシステム」

講師 中塚雅也 神部大学大学院農学研究科教授

協働や連帯に基づく農業・農村の地域計画づくりがいかに今後大事な事になってくるかについて講演があった。また、正に人口減少過疎化のなかで今後農村と都市との連携の在り方や協働についての重要性が示され参考となった。

パネルディスカッション 「世代を越えて安心して住み続けられるふるさと
～自然・人・活力とともに～」

コーディネーター 筒井一伸(鳥取大学地域学部教授)

パネリスト

村尾朋子(ゲストハウス明日の家オーナー)

父の暮らしていた町へ移住。空き屋を改修し明日の家オープン 都市と地域をつなぐ働き方・暮らし方を実践している。田を耕作して地域に溶け込んだ。空き屋再生・女性の仕事創出などに取り組んでいる。2 拠点生活で地域の良さを改めて認識した。

西山恵(大山公民館主事)

ボランティア 15 人と共にこどもの居場所づくりに取り組んでいる。一人一人の負担が増えないようにしている。グループラインも作り学童ではない活動を目指している。スタートはこどもが自由に遊べる空間作りを作ることから始まった。

工藤志保(山形県坂田市 日向コミュニティ振興会事務局長)

公民館に勤務後コミュニティ協議会を設立した。令和元年に憩いの場として日向里カフェをオープンして地域の方の集まり・地域間交流の場となっている。

自治会長を辞めても草刈り活動に従事してもらえるなど連携がより強くなったことを感じている。

矢嶋澄香（山梨県丹波山村総務課副主査）

東京の大学を卒業後海外留学した後丹波村に帰り役場に就職。地域おこし協力隊として活動。移住促進事業に携わる。地域協力隊通信を発行している。住みたい田舎ベストランキングで2年連続第一位を獲得する。求められている事がマッチングする事が大事。

まとめ

みんなで話すことが効果がある。移住者には、求められている事を理解させることが大事である。人口減少・過疎化の中でリアルティのある場所が必要であるのではないかな。

「期日」 10月31日(金)

「場所」 智頭町総合センター

「テーマ」 過疎地域持続的発展優良事例発表会

コーディネーター 関司直也(法政大学現代福祉学部教授)

梅内集落(秋田県能代市)

限界集落と言われたが、2023年に保育園だった所を改装し「梅内コミュニティセンター」として活用。森林資源を大事にまきづくりに取り組んでいる。森林手入れ体験や木の伐採なども実習。宝の森林プロジェクトや山菜クラブの活動が地域の源となっている。後継者不足や機材の不足が課題である。地域一丸となり活動が評価された。

ユーケーユーユー(新潟県佐渡市)

Uターン者が中心となり、近隣集落と協働した棚田の維持管理を行っている。さらに、クラウドハンティングを通じた新潟県内外の関係人口、地元大学、新潟県棚田みらい応援団なども連携し、活動の輪が拡大している。

採銅所地域コミュニティ協議会(福岡県香春町)

旧小学校をコミュニティ協議会として活用している。地域での対話を通じて策定された地域づくり計画「採銅所地域夢づくりプラン」を目標に福祉・教育・資源活用・農の分野・交通支援・防災分野と多岐にわたる活動を行う。それぞれが地域の主役となり活動している。

白川ワークドット協働組合(岐阜県白川町)

この組合は、事業者と働き手の両方をサポートすることで、持続可能なまちづくりを目指している。仕事の体験やコミュニティづくり等を通して就職や企業、キャリア支援を実施。人材・確保・育成をする事で、事業促進につなげ、町の活性化に寄与している。

「考察」

全ての発表が人口減少・過疎化をいかに乗り切ろうとしているか懸命に取り組んでいる事が伺えた。地域の持つ特性・魅力をいかに有効活用するか、また、他の地域やグループとの連携も重要視しているか感じられた。

地域の持続的発展と風格の醸成を目指している優良事例である。

調査事項：第30回全国棚田（千枚田）サミット in 別府 への参加研修

日時：2025年10月31日（金）～11月2日（日）

参加議員： 湯元秀誠・宇都陽一郎

棚田は食料生産の場であるだけでなく、伝統・文化の保存、美しい景観、教育、国土保全といった様々な機能を持っています。

棚田の保全活動を実施する多くの関係者が一堂に会し、中山間地域の様々な課題や先進事例を共有し、棚田を保全・維持してきた先人たちへの感謝の想いや災害からの復旧・復興への願いを込めて、棚田に関わることでより良い人生につながる（ウェルネス）ということを全国に向けて発信し、日本の原風景とも呼ばれる棚田を次世代につなぐため、全国棚田（千枚田）サミットを開催され参加致しました。

開催概要

日時： 令和7年11月1日（土）～11月2日（日）

主会場： 別府国際コンベンション（ビーコンプラザ）

テーマ： 棚田でウェル 想いと願いを込めて

開会式

主催者挨拶：全国棚田サミット（千枚田）連絡協議会会長（前回開催の長野県上田市市長）

開催地挨拶：第30回全国棚田サミット実行委員会会長 別府市長 長野恭紘

事例発表

『内成棚田の保全維持活動について』

別府市の「内成棚田の会」の後藤利夫さんが、内成棚田の概要や取り組みの紹介がなされた。「日本の棚田百選」にも選ばれた内成棚田は、標高約130～350メートルの斜面に並ぶ約1千枚（約20ヘクタール）の水田からなる。1枚の平均面積は3アールほどと小さく、農作業の効率化は難しい。後藤さんは「就農者の平均年齢は67歳。後継者が激減し、気力、体力、将来性が低下している」などと指摘。さらに水路や農道の老朽化や自然災害もあって、休耕田が拡大していると問題提起した。「小規模零細農家を保護しないと日本の農業は衰退し、食料確保は難しくなると強調されている。

後藤氏は、ご自身でも4反（4,000㎡）の水田を一人で耕作されています。4反といえども、その枚数は22枚にもなるという事で、棚田での作業の大変さが想像出来ました。内成棚田で実施された取組について、成功・失敗事例を交えた発表がありました。やはり、第一の課題は後継者不足という事で、これを解決するための取組が求められております

シンポジウム

「第30回記念」として、棚田サミットが企画された背景や、第1回から前回までの29地域に上る開催時の所感について、コーディネーターである中島峰広氏から講演があった。

棚田サミットの誕生の発端は「司馬遼太郎」であることの話しをなされた。

高知で開かれた兵隊時代の同期会に出席。『街道をゆく』の取材を兼ね梶原街道沿いの神在居の棚田について『梶原の棚田はえらいものやな、万里の頂上も人類の遺産だけど、梶原の随所

にある千枚田も大遺産やな」と絶賛した。この一言で棚田に火がついたと話された。

第3分科会に参加

農村と都市をつなぐ“おいしい交流” ～棚田の風景を味に変える～

進行司会 桃山学院大学ビジネスデザイン学部准教授 大坪史人氏

都市農村交流やグリーンツーリズムが盛んになり30年余りがたちました。その中で道の駅が発展し様々な地域活性化の特産品が生まれてきました。そこで今回は、棚田地域における酒造りや直売所について今一度考えて生きましょう。がテーマです

登壇者 大津雄慈氏 OOTSU 企画代表取締役

百貨店のバイヤーとして30年、外商部や食品部などで経験を重ねた大津さん。食品部に所属していた頃に視察で訪れた鹿児島県の阿久根農業高校の生徒たちが手がけた3年B組の加工品の存在を知ります。

客たちが手に取り、次々と売れていく様子を目の当たりにして、「生産者が、農作物を作るだけではなく、売ることまで見据えた商品づくりが必要だと感じました」。

大津さんは早速、大分県内の農業高校に働きかけたところ、流通課を新設予定の高校の校長から、「生徒たちがつくる商品をぜひ販売させてほしい」と逆オファー。

催事で販売したところ反響が大きく、商品は完売したそうです。その催事の販売員は、農業科で学ぶ生徒たち。

将来の農業を担う可能性が高い生徒たちに対して、「どのように値段が付き、どんな人が買ってくれるのか、どうすれば売れるのかを考えながら店頭に立ってほしい」と話したそうです。「これからは、農家自身が販路を意識した農業をしなければならない」と大津さんは、当初から「儲かる農業」に注力。「もっと利益を生む仕組みを確立できれば、農業従事者を確保できるはず」と、その思いは一層強くなるばかりであった。

大分県内には約50軒の直売所がありますが、多くが売上を伸ばすことに苦戦しているそうです。百貨店勤務時代、農作物直売の催事を成功させた経験を持つ大津さん。その経験をいかして顧問として支援したのが、農産品直売所「サザンカクロス野菜館」です。

初は日出町の専業野菜農家15名でスタートし、大型スーパー内で週末だけの限定出店でしたが、2004年に出資者を募り株式会社になりました。その時分には全店毎日出荷体制となり生産者からは会員を募り、現在130人以上が所属する組織として成長しています。現在は大分市、別府市、日出町に全5店舗を展開しています。そして15年程前より野菜売り場では珍しい販売専任の野菜ソムリエの資格を持つ方、販売のプロの方を中心に販売員を置いて、「売れる売り場づくり」戦略を試みた事は売り上げ拡大のひとつの大きな要因になりました。

ファン(消費者)をつくる仕掛けで、価値ある商品をさらに特別なものに。

知られざる農産品を発掘し、消費者へ届けることを意識している大津さん。手がけた商品のひとつが、宇佐市安心院町松本産の米を使った純米酒「イモリ谷」です。前職を退職したタイミングだった大津さん。「これまでの経験をいかして地域に貢献できることはないか」と考えていた時期でした。

米農家や酒造場とのつながりによって誕生した日本酒造りのプロジェクトは2003年からスタート。特徴は、米作りから仕込みまで、商品ができあがるまでの全ての工程に、地域の人、酒造りの人、販売をする人、そして消費者が全工程に参加することです。

毎年4月のミーティングからはじまり、田植え、稲刈り、酒の仕込み、販売と、全ての行程に

携わってみると、商品はわが子のような存在に。美味しさや特別感もひとしおです。毎年限定販売で特別醸造する「純米酒いもり谷」はファンが増え続けて現在は百貨店、特約店等で定番化されています。大津さんが「作る前から売れている。これこそが究極のマーケティングです」と表現するように、確実に売れる商品づくりに成功しています。農商工+消(消費者)連携の仕掛けによって、未来に期待できる商品が完成。利益はもちろん、このプロジェクトを通じて地域を訪れる人も増え、地域活性化にも貢献していますと話された。

閉会式 令和7年11月2日(日) 9:30

第30回全国棚田サミットの共同宣言が採択されました。

内成棚田の会の川島千明さんが「棚田は、先人たちから受け継いだ貴重な遺産であると同時に、未来世代へと引き継ぐべき国民共有の財産。全国の棚田地域の発展に向け、思いと願いを込める」と語り、千葉県出身で内成の棚田に魅せられ移住してきた女性でありながら、持続可能な棚田の保全と活用の取り組みなどを盛り込んだ共同宣言案を読み上げた。宣言案は、満場一致で採択された。

サミットの実行委員会会長を務めた長野恭紘・別府市長は「(棚田には)食料を確保することはもちろん、災害を防ぐことや観光、教育、文化と様々な役割がある。問題や課題を共有し、改めてみんなで力を合わせてやっていこうという大きなきっかけになった」と振り返った。

現地見学会・観光エクスカージョン 11月2日(日) 10:00

別府市内には内成棚田のほか、天間、堂面、大所、東山の棚田群の4カ所の棚田がある。いずれも「つなぐ棚田遺産」(農林水産省)に選ばれている。閉会后、バスで現地の見学に向かった。

観光を交えた7コースが選択でき、2つの棚田を巡る 堂面棚田～みょうばんの湯の里～内成の棚田コースに参加した。

【堂面棚田】温泉で有名な別府市の西側山裾に位置し、東側は市街地越しに別府湾を見下ろせる風光明媚な棚田です。市民の憩いのスポットとして親しまれています。

標高範囲 60～160 平均勾配 1/10 法面の構造は石積み・土壌混在 耕作面積 9ha
市街地近隣に位置する棚田としての機能を保全するため、水路の清掃や補修、農道の草刈り野焼きを行っている。扇状地系の上部に位置し、下部へ広がる市街地への洪水防止、土砂流出防止、水源涵養などの役割を果たすために活動している。地元の子供たちを対象に田植え、稲刈り体験会を実施している。

棚田サミット参加者を地域の若い方など交えて、和太鼓の演奏や地元で伝承される神楽舞を棚田の野外の一角で、演舞され歓迎していただき感動した。以前はもっと広くの棚田面積があったことが伺えた。

【内成の棚田】内成棚田は別府温泉から南東10kmほどの高崎山に続く山並みを越えたところに位置し平安末期から開墾がはじめられたと言われ江戸時代初期には現在に近い形が出来上がったと伝えられています

標高範囲 130～350m 平均勾配 1/10 法面の構造は石積み・土壌 耕作面積 41.7ha
昭和時代は70軒で50ha 平成時代は54軒で54ha 令和の現在45軒で20haが耕作されている。

棚田形状の美しさを守るため、水田の保全を行うとともに、散策マップの制作など棚田を楽し

める工夫も行っている。棚田米を生産し、学校給食にも提供している。棚田オーナー制度や農業体験なども実施している。神社やお寺などの伝統文化を継承し、農繁期の前後には、明神祭りや水神祭などが行われている。

現地説明では内成の棚田の維持耕作は今後大変厳しいことになると話されていた。

研修のまとめ

開催地の別府市は国際観光文化都市である。その賑わいの市街地を包むように「日本の棚田百選」に別府市だけで5か所の棚田が認定されていることに驚く。

- ・棚田ツーリズムによる観光資源として棚田を活用することで、地域に人を呼び込む仕組みの議論
 - ・棚田を中心とした景観史を読み解く試み
 - ・棚田発の商品・特産品を生み出すビジネスデザインの検討
 - ・スマート農業の活用で管理の省力化を実現し、担い手が不足する中でも持続可能な取り組みを続けるため、実証実験などで模索し、結果は共有し合うことが大事である。
- などが分科会で議論が交わされました。

自分自身も米作りを中山間地域の出勾率 1/11 の水田で行っている。等高線状に開かれた昔の棚田は、区画整備事業により田の面積は広くなり改善された。しかし、水系では山からの水源確保、川からの用水確保、山裾の田から河川までの高低差は、以前と変わらず大きく耕作地の藪や草払いの維持管理に多くの労力を奪われている。

生産者は農地の条件を憂慮しながら貸し主と、小作契約を行っている現状もあり中山間地域の耕作地の存続には、地域外からの通作・入り作や農業移住者の呼び込みを積極的に行う必要が迫っていると感じている。

居住環境や新規就農者への農地あっせんや、農機具等の貸し制度など集落協定等の丸ごとの取り組みで、魅力的に条件整備をする必要があると感じている。



ビーコンプラザ レセプション会場



堂面棚田の地域の方々の歓迎の様子

領収書貼付台紙

(10月30日)

○帖佐駅 → 鹿児島中央駅 (560円)

○錦江駅 → 鹿児島中央駅 (560円)

領収書

様

ご利用日付 2025年10月30日

時刻 06時04分

券番号: 5303

取引内容: 乗車券類 金560円

税率: 10%

事業者コード: T8290001012821

伝票番号: 21592

●ご利用ありがとうございます。

帖佐駅 券181発行

九州旅客鉄道株式会社

ICカード残額ご利用明細

カード番号: JETXXXXXXXXXXXX0509

残額履歴 (最新 10件)

月日	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
0629	入場	京浜急行	出場	京浜急行	*1834
0629	入場	JR東	出場	JR東	*1688
0630	入場	JR東	出場	JR東	*1542
0630	入場	京浜急行	出場	京浜急行	*1145
0717	保金	加治木	出場	加治木	*3145
0731	入場	西武バス	出場	西武バス	*2995
0731	入場	東京モノ	出場	東京モノ	*2476
0827	保金	加治木	出場	加治木	*2076
0830	保金	加治木	出場	加治木	*1448
0805	入場	鹿児島中	出場	鹿児島中	*998
0805	入場	鹿児島中	出場	鹿児島中	*328
1025	入場	京浜急行	出場	京浜急行	*2328
1025	入場	京浜急行	出場	京浜急行	*2001
1025	入場	JR東	出場	JR東	*1834
1025	入場	JR東	出場	JR東	*1667
1026	入場	京浜急行	出場	京浜急行	*1340
1030	入場	錦江	出場	鹿児島中	*780
1209	入場	鹿児島中	出場	加治木	*780
1209	保金	加治木	出場	加治木	*330

202512-9 14:43 加治木駅券181発行

ご利用ありがとうございます。

(1/1)

九州旅客鉄道株式会社

○鹿児島中央駅 → 岡山駅 (22,450円/人×2人=44,900円)

クレジットカードご利用明細票

(1/1)

VISA-XXXXXXXXXXXX5428

10月10日 発売

¥44,900

掛

R577

2025.10.30

60041-01

鹿中MV50-1発行

○岡山駅 → 鳥取駅 (5,400円/人×2人=10,800円)

お客様控

クレジットカードご利用票/CREDIT CARD SALES SLIP

R608

有XX-XX

会社名・会員番号

VISA-XXXXXXXXXXXX5428

(JR西日本)

取引内容: お買上

支払区分: - 掛

IC

¥10,800

商品名: (一括発券) 指定券

2枚(冊)

10月30日 スーパーいなば 5号 岡山→鳥取 乗車券込み

乗車変更や払い戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払い戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

VISA CREDIT

A0000000031010

2025.10.30

40865-04

この控は大切に保存してください。

岡山駅N65発行

領収書貼付台紙

(10月31日)

○智頭駅 → 上郡駅 (2,150円×2人) ○上郡駅 → 相生駅 (240円×2人)

CKK 016-624

NO.25103101

領収書

様

金額 ¥4,780

「消費税等込み」(税10%)

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年10月31日

智頭急行株式会社

登録番号: T4270001000468
ご利用いただきましてありがとうございます収入印紙
(200円)
6万円
未満不課

智頭急行 智頭駅

取扱者

○相生駅 → 鹿児島中央駅 (22,910円)

○鹿児島駅 → 錦江駅 (450円)

クレジットカード ご利用明細票 (1/1)
10月10日 発売 ¥22,910 - 抵 VISA-XXXXXXXXXXXX5428 R585

2025.10.30 20044-01

鹿中MV50-1発行

○相生駅 → 小倉駅 (12,650円)

クレジットカード ご利用明細票 (1/1)
10月10日 発売 ¥12,650 - 抵 VISA-XXXXXXXXXXXX5428 R593

2025.10.30 50047-01

鹿中MV50-1発行

領収書

様

ご利用日付 2025年10月31日

時刻 18時00分

券番号: 8763

取引内容: 乗車券類 金450円

税率: 10%

事業者コード: T3290001012621

伝票番号: 80873

●ご利用ありがとうございます。

鹿児島駅 券183発行

九州旅客鉄道株式会社

領収書貼付台紙

住所：
Agoda International Japan株式会社
東京都渋谷区
恵比寿南1-7-8
恵比寿サウスワン8階

予約番号 1647793153

支払日 October 28,
2025

領収書

宿泊者氏名 & 住所	
名前	市政クラブ始輝
請求書送付先	
Eメールアドレス	

記述		合計
ホテル名	APAHOTEL Beppu Ekimae	
期間	October 31, 2025 - November 2, 2025 (泊数 : 2泊)	
部屋タイプ	Standard Room for 1 Person - Non-Smoking	
部屋数	2	
エクストラベッド数	0	
客室合計金額		USD 366.28
エクストラベッド合計金額		USD 0.00
総合金額		USD 366.28
合計お支払い金額		JPY 54,000 (USD 366.28)

中林 さとみ

この領収書は自動的に作成されています。

◎宿泊日 10月31日・11月1日

◎宿泊者 湯元秀誠・宇都陽一郎

◎宿泊料 1泊13,500円×2泊×2人=54,000円

※宿泊料は、県外の場合1泊13,100円が上限となるため、

13,100円×2泊×2人=52,400円を政務活動費から支出

領収書貼付台紙

(10月31日)

○川内駅 → 小倉駅 (11,800円) ✓

領 収 書

Receipt 様
 領収年月日 2025.10.31 登録番号: T6290001012621
 金額 ¥11,800 ✓ 税10%

上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類

(50782 1枚)
 九州旅客鉄道株式会社
 川内駅-R発行

60783-01

印紙税申告納
 付につき博多
 税務署承認済

○小倉駅 → 別府駅 (10/31: 3,800円×2人=7,600円) ✓

○別府駅 → 小倉駅 (11/2: 3,800円×2人=7,600円) ✓

領 収 書

Receipt 様
 領収年月日 2025.10.31 登録番号: T6290001012621
 金額 ¥15,200 ✓ 税10%

(クレジット払い)
 購入商品 JR乗車券類
 (九州旅客鉄道株式会社 1枚)
 小倉駅RN4発行

10345-01

印紙税申告納
 付につき博多
 税務署承認済

○小倉駅 → 博多駅 (11/2: 1,690円×2人) ✓

所

1205115

No. 120511525110201

領 収 書

様

金額

¥3,380 ✓

(税込) 税率 10%

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました
 2025年11月02日
 九州旅客鉄道株式会社

登録番号: T6290001012621

門司車掌区 3040M

取扱者 印

領収書貼付台紙

(11月2日)

○博多駅 → 川内駅 (10,550円) 博多駅 → 鹿児島中央駅 (12,150円)

お客様

クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP

R621

有XX-XX

会社名・会員番号

VISA-XXXXXXXXXXXX5428

(JCB西日本)

取引内容:お買上

支払区分:一括

IC

¥22,700

承認番号:365609ATC002D C02

商品名: (一括発券) 指定券

2枚(冊)

11月 2日 さくら 561号 博多→川内 乗車券込み 他

乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

VISA CREDIT

A0000000031010

2025.11.-2

30556-04

この控は大切に保存してください。

博多駅N922発行

○鹿児島中央駅 → 帖佐駅 (560円)

○駐車料金 (1,500円)

領収書

様

ご利用日付 2025年11月-2日

時刻 19時43分

券番号: 2111

取引内容:乗車券類 金560円

税率:10%

事業者コード: T8280001012621

伝票番号:25536

●ご利用ありがとうございます。

鹿児島中央駅 券187発行

九州旅客鉄道株式会社

川内駅西口駐車場

株式会社薩摩川内市観光物産協会

薩摩川内市鳥追町1番1号

電話: 0996-27-6758

登録番号 T3340001016438

領収証

精算機 #01

A 精算No.000126

発券機 #01

発券No.089291

入庫時刻 2025年10月31日(金) 12:54

出庫時刻 2025年11月 2日(日) 19:36

駐車時間 2日 6:42

駐車料金 8料金 1,500円

=====

合 計 1,500円

現金領収額 1,500円

お預り 1,500円

お釣り 0円

合計は消費税10%対象です

またのご利用をお待ちしております。

領収書貼付台紙

No. 0096872

請求明細書

B I L L

株式会社 G・R・H 3rd

登録番号 T8290001065808

グリーンリッチホテル鳥取駅前

〒680-0834 鳥取県鳥取市永楽温泉町102-6

TEL:0857-25-0022 FAX:0857-25-0077

客室番号 ROOM No.	421	泊数 NTS	1	ご到着日 AR. DATE	25/10/30	ご出発日 DP. DATE	25/10/31
お名前 NAME	市政クラブ 始輝						様

日付 DATE	客室番号 ROOM No.	摘要 EXPLANATION	数量 Q'TY	料 金 CHARGES
25/10/30	421	宿泊料	1	9,682
	422	宿泊料	1	9,682
	421	VISA		(19,364)
		—御利用額—		19,364
		—消費税(10%)—		(1,760)
		—クレジット額—		(19,364)
				御請求金額
				税率10%

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

ご署名

No. 0096872

領 収 証

R E C E I P T

株式会社 G・R・H 3rd

登録番号 T8290001065808

発行日付 2025年10月30日

お名前 NAME	市政クラブ 始輝 /	様
領収金額	¥19,364 /	
	内消費税等 ¥1,760 (税率10%)	

収 入

印 紙

但 宿泊料金として

上記正に領収いたしました

グリーンリッチホテル鳥取駅前

〒680-0834 鳥取県鳥取市永楽温泉町102-6

TEL:0857-25-0022 FAX:0857-25-0077

係印

領収書貼付台紙

領 収 明 細

領収証発行日: 2025年11月03日
2 / 2

領収額合計 30,000円 (税込)

【内訳】

イベント名 イベント会期		第30回全国棚田(千枚田)サミットin別府 2025年11月01日 ~ 2025年11月02日			
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
2025年09月05日	2025年11月01日 参加登録費 宇都 陽一郎 様(申込者)	✓ 3,500円	✓ 1	3,500円	10%
2025年09月05日	2025年11月01日 11/1(土)お弁当(お茶付き) 宇都 陽一郎 様(申込者)	1,500円	1	1,500円	※1
2025年09月05日	2025年11月01日 11/1(土)交流会 宇都 陽一郎 様(申込者)	7,000円	1	7,000円	10%
2025年09月05日	2025年11月01日 参加登録費 湯元 秀誠 様(宇都 陽一郎 様:同時登録者)	✓ 3,500円	✓ 1	3,500円	10%
2025年09月05日	2025年11月01日 11/1(土)お弁当(お茶付き) 湯元 秀誠 様(宇都 陽一郎 様:同時登録者)	1,500円	1	1,500円	※1
2025年09月05日	2025年11月01日 11/1(土)交流会 湯元 秀誠 様(宇都 陽一郎 様:同時登録者)	7,000円	1	7,000円	10%
2025年09月05日	2025年11月02日 10:00~15:00 B 2つの棚田を巡 るコース 宇都 陽一郎 様	✓ 3,000円	✓ 1	3,000円	10%
2025年09月05日	2025年11月02日 10:00~15:00 B 2つの棚田を巡 るコース 湯元 秀誠 様	✓ 3,000円	✓ 1	3,000円	10%
① 請求額合計				30,000円	2,676円
(10%対象)				27,000円	2,454円
(8%対象 ※1)				3,000円	222円
(対象外 ※2)				0円	0円
② 入金額				30,000円	
③ 請求残額				0円	

※1 軽減税率適用
※2 消費税対象外商品

◎参加登録費 1人3,500円×2人(湯元秀誠・宇都陽一郎) = 7,000円 ✓
◎分科会参加料 1人3,000円×2人(湯元秀誠・宇都陽一郎) = 6,000円 ✓
計 13,000円 ✓

※弁当代(1人1,500円×2人=3,000円)・交流会参加費(1人7,000円×2人=14,000円)、合計17,000円は自己負担